

佐賀大学機関リポジトリシステム・図書館ポータルの導入について

附属図書館

医学利用サービス系係 浅岡宏信

1. はじめに

総合情報基盤センターと附属図書館は、中期計画「収集した情報を有効に関連付けた教育ポータルを構築し、提供する」の達成に向けて図書館ポータルを平成17年度に構築し、また、「研究情報・文献情報の電子化による研究支援体制を充実する」について平成18年度より機関リポジトリシステムの構築を進めています。

2. 機関リポジトリシステムについて

機関リポジトリシステムとは、学内の研究者の教育研究成果情報（論文、学位論文、電子教材等）を収集・保存し、デジタル情報としてインターネット上に広く公開するシステムのことです。

機関リポジトリシステムには、デジタル情報とともに国際規格であるダブリンコア (Dublin Core) に準拠したメタデータフォーマット（タイトル、作成者、作成日等からなる情報）を作成し登録します。このメタデータが OAI-PMH (Open Archives Initiative Protocol for Metadata Harvesting) というプロトコルにより国内・国外のリポジトリサーバから収集され、代表的なリポジトリサーバにおいて一括で検索されるようになります。国立情報学研究所 (JuNii)、Google Scholar 等の検索エンジンから検索されることで、学内における教育研究成果を効果的に広く国内外に広めることが可能になります。

佐賀大学では、平成13年から電子図書館システムを構築・運用し、学内に蓄積された教育研究成果情報の電子化及び公開を行っています。この電子図書館システムに収集・保存してきた紀要論文・学位論文・植物遺伝資源情報・シラバス・研究業績等の情報発信力の強化を図ることを目的として、メタデータを活用した新たなシステムである機関リポジトリシステムの導入に積極的に取り組んでいます。学長承認により、情報政策委員会の下に機関リポジトリ構築・運用ワーキンググループを設置し、全学的に取り組める組織体制の整備を行いました。平成18年度国立情報学研究所次世代学術コンテンツ基盤共同構築事業に採択され、電子図書館システムに登録されているデータをメタデータとして整理を行い、平成18年12月に機関リポジトリの試験公開を開始しています。機関リポジトリシステムには、MIT (マサチューセッツ工科大学) と HP (ヒューレット・パカード社) が開発したソフトウェア Dspace を改良した NTT データ九州社製 Nalis-R を導入しました。また、機関リポジトリシステムに電子図書館システムとのシステム間の連携を図るため、差分データが随時反映できるように電子図書館システムのカスタマイズを行っています。現在収録されているコンテンツは、紀要論文 (4,400 件)、学位論文 (1,400 件)、貴重書 (3,500 件)、植物遺伝資源情報 (120 件)、シラバス (21,000 件) になります。平成19年度は、上記の他に大学データベースに登録されている研究業績 (学術論文、発表論文等)、e-ラーニングシステムについて整理を進めていく計画です。

機関リポジトリを整備していくうえで、メタデータだけでなくデジタル情報を保存・公開していく必要があります。電子化・公開については、著作権処理やデータ整備のための人的・経費的な面で多くの問題を抱えていますが、学内における理解と協力のもと、コ

コンテンツの整備・充実を図り、機関リポジトリシステムが佐賀大学の教育・研究成果の統合的な情報発信の窓口となるようにしていきたいと考えています。

3. 図書館ポータルについて

図書館利用サービスの窓口として平成18年からホームページに図書館ポータルを開設しサービスを行っています。図書館ポータルでは、図書館への問い合わせ、佐賀大学蔵書・電子ジャーナルの検索、自分が購入を希望する図書の申込み、自分の現在の予約状況・貸出状況の確認、貸出中の図書の予約、グループ学習室の予約、文献複写の依頼・相互貸借の依頼など、図書館サービスがWebを介してワン・ストップで利用できるようになっていきます。また、携帯電話サイトからも同様に利用できます。

- ・ 佐賀大学機関リポジトリ URL (<https://portal.dl.saga-u.ac.jp>)
- ・ 図書館ポータル URL (<https://opac.lib.saga-u.ac.jp/portal/>)

